

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）
分担研究報告書

人工内耳装用児の言語能力向上のための効果的な療育方法の確立に向けた研究

研究分担者

新谷歩 大阪公立大学 大学院医学研究科医療統計学 教授

研究要旨

聴覚障害児の難聴脳データベースのを構築する。
世界的にも、聴覚障害に特化した脳のデータベースはない。他の科学者がアクセスできる難聴脳データベースを構築することで、これまで経験ベースであった療育手法の開発が、脳科学的な裏付けを得ることが可能となる。

A. 研究目的

先天性聴覚障害児・者の難聴脳データベースを作成する。

聴覚活用教育を受けた子供と視覚活用教育を受けた子供との難聴脳データベースを比較する。

難聴脳データベースから人工内耳装用効果予測モデルを構築する。

B. 研究方法

先天性難聴児・者 50 例（合計 80 例）を登録した。東北メディカル・メガバンクより、健聴者 1,918 人の全脳 3DT1 強調 MRI 画像データの提供を受け、健聴コントロールデータとして解析を行った。国立病院機構 NHO ネットワーク研究として、後天性難聴者 100 名を難聴脳データベースに登録し解析を行った。

解析したデータを共有、ウェブ会議で確認し評価を行った。

（倫理面への配慮）

C. 研究結果

D. 考察

E. 結論

F. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

該当なし

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし